

2016年8月吉日

調布稲門会 会員・準会員の皆様

主催 調布稲門会女性の会

## 都電貸切ツアー

6月発行「紺碧」でお知らせしました「家族と楽しむ早稲田界限と都電荒川線車両貸切ツアー」のご案内です。

2005年秋に立ち上げました食・歩会（現在女性の会）の「散策とランチ」が今回で20回目を迎えます。それを記念し女性会員に限定せず、男性会員、ご家族も参加して頂ける内容と致しました。



◇都電早稲田駅◇

午前中、戸山キャンパス裏にある徳川尾張藩ゆかりの箱根山登山（かなり大袈裟ですが）、都電早稲田駅近くの昔懐かしいそば処で昼食後、貸切のちんちん電車に乗り、のんびりと町の風景、すれ違う電車、坂の起伏を楽しみながら終点三ノ輪橋に向かいます。三ノ輪橋到着後、昭和の香りが残る三ノ輪橋商店街を散策します。皆さまのご参加を心からお待ちしております。

### <日程・その他>

日時： 10月2日(日) 午前10時～夕方（集合時間：午前9時50分）

集合場所： 戸山キャンパス正門前（文学部）

参加費用： 4000円（飲み物付き昼食、都電、雑費 含む）

（小学生以下 無料/中・高生、大学生はご相談ください。）

申込期限： 9月18日（日） \*40名募集（先着順）

申込&問合せ先： 山田和子 （Tel&Fax）042-488-0741

（Email）kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp

\*お申し込みの際、参加者全員のお名前をお書きください。

\*お子様がお参加の場合、その年齢もお書き添えください。

申込取消： 9月28日（水）までにお願ひ致します。その後の取消しにつきましては全額ご負担願ひします。

### <コース>

10時～11時： 箱根山登山 \*雨天の場合 坪内逍遙演劇博物館見学

11時30分～13時30分：金城庵にて昼食（蕎麦・つまみ・飲み物）

14時05分 早稲田駅にて都電乗車 →15時03分 終点三ノ輪橋着  
到着後、三ノ輪橋商店街散策→解散（地下鉄日比谷線三ノ輪駅が近いです。）

参加お申込みの皆様には9月25日頃に詳細をお送りいたします。

早大と徳川尾張藩の地縁——“早稲田キャンパス考古学” 高原 浩（昭44法）  
（6月発行調布稲門会会報 紺碧44号記事より）

在学中は全く興味がなかった早稲田大学の立地場所の来歴についてひょんなことから、紐解くことになりました。本部キャンパスの大半は、現在も南側に隣接する天台古刹の宝泉寺(西暦810年創建)の広大な寺領の一部でした。また文学部のある戸山キャンパスは徳川尾張藩の江戸下屋敷(戸山屋敷、藩主の私邸)でした。ここまでは「知る人ぞ知る」ですが、ここでは後者について最近のエピソードをご紹介します。きっかけは関西に住む従兄弟の「早稲田大学の敷地は徳川尾張藩の下屋敷跡なんだってね」の一言。聞くと、彼が母校の名古屋工業大学を訪ねたついでに近所にある徳川美術館隣接の日本庭園「徳川園」(二代藩主光友の隠居所、大曾根屋敷が起源)に立ち寄った。そのとき園内の「龍門の瀧」の入口立て札に、平成10年(1998年)に早大敷地内で旧尾張藩邸の池泉回遊式庭園のうちの「龍門の瀧」の遺構が発掘され、出土した石材多数を譲り受けここに戸山屋敷の滝を蘇らせた、とある。私はてっきり本部敷地かと勘違いしましたが、実は戸山キャンパスのこと。

戸山屋敷は江戸時代初期に造営され、小溪谷「鳴鳳溪」を構成する「龍門の滝」のある当代随一の庭園を備えていました。余談ですが、その時に池を掘った残土を積み上げ固めて築いたのが現在の新宿区戸山公園内にある箱根山(標高は山手線内では一番高い44.6m)です。この石材は江戸城築城の余り石とみられ、全360個、総重量250トン。

名古屋市は平成11年に早大から石材を譲り受け、平成16年秋に新装成った徳川園内に「龍門の瀧」を再現しました。

滝の布落ちや護岸、河床、飛び石にこれらの石材を使って、水量を急激に増す仕掛けを昔ながらに取り入れています。名古屋訪問の機会があれば、ワセダとの地縁を思い馳せながらぜひ一度訪ねてみては如何でしょうか。

<都電荒川線>

起点： 三ノ輪橋停留場、 終点： 早稲田停留場、 路線距離： 12.2km

停留所数： 30箇所

\*今回は9001型車両を貸切予約しました。

\*早稲田～王子は特に起伏の変化があります。

